

子どもがつくる算数の複式ガイド学習 研究大会

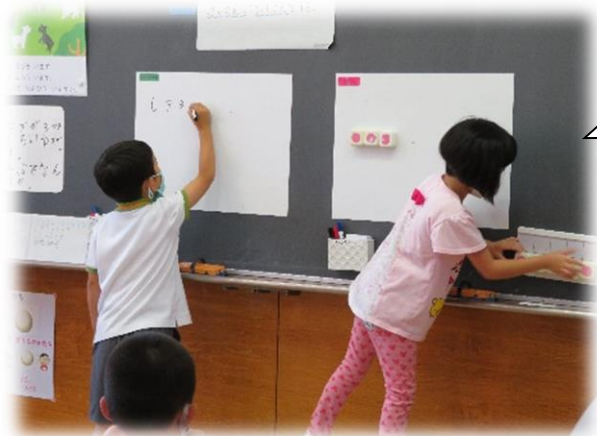
1 算数研究の歴史

本校では、平成元年から30年以上、算数科教育を研究しています。複式学級では、1年生と2年生、3年生と4年生、5年生と6年生、それぞれ2つの学年が同じ教室で学習をします。別々の内容を学習しようとするとき、学級担任は一人で両方の学習を進めなければなりません。そこで、担任が一方の学年を見ている間も、子どもたちが自分たちで学習をすすめることを目指します。

この研究を進める中で、子どもたちの主体的・自律的に学習する力が育ってきました。そして、子どもたちの育ちに支えられ、教師も両方の学習をしっかりと見守りながら、よりよい指導と支援を研究してきました。市の内外を問わず、県外からも、たくさんの先生が本校の算数の学習を参観に来られます。母子小学校の子どもたちの算数の学習が広く注目されています。

2 子どもがつくる学習

子どもたちは「学習は自分の力で進めるもの」「問題は自分たちで解決していくもの」「算数のきまりは自分で見つけて、分かったことは自分でまとめていくもの」として、算数の学習に取り組んでいます。学年が上がり、学習を重ね、年々成長していく姿があります。



1年生の学習では、具体物を操作しながら、自分の言葉で説明する学習を大切にしています。言葉だけでは、なかなか上手く説明できないことも、具体物を使うことで上手く説明できたり、理解したりすることができます。このような経験を低学年のうちから積むことが、高学年の子どもがつくる算数につながっていきます。

3年生5年生は1人学年ですが、学習は1人の力で進めようとしています。発表の準備から、発表、おたずねに答えるまですべて1人の力でしなくてはなりません。とても大変ですが、毎日の積み重ねにより、着実に子どもの力となっているのがよくわかります。共同学習者の先生のおたずねにも答えながら発表する力をつけています。導入されたタブレット端末もつかっています。



IPadを使って説明。

3 校内研修会

①第1回公開授業研修会(校内研修会) 5月21日(金)

学年		単元名	指導者
複式	3年	図を使って考えよう ～かくれた数はいくつ～	橋本直樹 野垣佳代
	4年	折れ線グラフ	

【講師】 本校教頭 藤原省吾(元 阪神地区教科等指導員 算数科)

②第2回公開授業研修会(校内研修会) 6月21日(月)

学年		単元名	指導者
単式	1年	たしざん(1)	細見有美 山崎丈
複式	5年	わくわく算数ひろば(人文字)	濱田綾香 山崎丈
	6年	資料の調べ方	

【講師】 奈良女子大学附属小学校教諭 河田 慎太郎 先生

4 研究発表会

「子どもの深い学びを目指したつなぐ力の育成～子どもがつくる算数科学習を通じて～」をテーマとして研究を進めてきた。その中で、ひとり学習、おたずね、つなぐ力について、校内研修会などを通じて研究を深めた。毎年9月下旬～10月上旬に研究発表会を行っている。市内はもとより県内各地から参観していただき、「母子の算数・複式ガイド学習」への関心の高さがうかがえる。これからも、兵庫県の複式ガイド学習の発信校として、各校と連携しながらこの学習を進めていきたい。

○母子小学校研究発表会 令和3年度三田市教育委員会指定 10月1日(金)

学年		単元名	指導者
複式	1年	3つのかずのけいさん	細見有美 山崎丈
	2年		
複式	3年	何倍でしょう	橋本直樹 野垣佳代
	4年	割合	
複式	5年	分数(1)	濱田綾香 山崎丈
	6年	比とその利用	

